

地域計画

策定年月日	令和7年3月27日
更新年月日	令和8年6月4日 (第2回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	羽生市 11216
地域名 (地域内農業集落名)	岩瀬地区 (中宿東部、中妻南部、中妻北部、中岩瀬下、中岩瀬上、下岩瀬下、桑崎西部、桑崎東部、小松第一、小松第二)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	96.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	39.5 ha
② 田の面積	18.6 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	78 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.54 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	20.1 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)遊休農地面積4.9ha(R7.8月現在)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

【現状】主な作物:水稲・露地野菜・花き 農業を担う者:認定農業者等15人、利用者3人
 ★農業者の高齢化や担い手不足が進んでいる
 ★1区画当たりの面積が小さいほ場が多い
 ・地区内に市街化区域を含んでおり、開発事業と農業振興の兼ね合いを図ることが難しい地域
 ・農用地区域外の農地(白地)が多く、基盤整備事業を活用できる地域が限られる

【不安や課題】

★後継者がおらず、自分が離農した時に次の耕作者が見つかるか不安
 ★自分が耕作している農地の近隣に耕作放棄地があり、困っている
 ・袋とじになっている農地が散見される地域があり、耕作放棄地化が進んでいる

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- 1 主要作物は、水稲・露地野菜・花き
- 2 定期的な話し合いの場を設け、地域農業における現状把握・共有を図る
- 3 作業効率の向上を図るため、基盤整備事業を行う
- 4 新規就農者や若手農業者・地区外の担い手等、規模拡大に意欲的な者への農地集積・集約を行う
- 5 ほ場に面している農道・水路・法面及び畦畔の管理については、近隣ほ場や他の耕作者の営農に支障が出ないように、原則、当該ほ場を耕作している耕作者にて適切な管理を行う

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
地域計画に位置づけられた「農業を担う者」への集積を基本として、農地の集積・集約化に取り組む。定期的な協議の場を通じて、「地域内の農業を担う者」及び「地域農業における現状」の把握・共有に努め、持続的な農地利用を図る。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	20 %	将来の目標とする集積率	60 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
基盤整備事業の活用が可能な地域では、作業効率改善に向けた農地の大区画化・集約化を検討する。地域内の経営体のみで農地を受けきれない場合には、地域外の経営体を受け入れ、農地の維持に努めていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
分散ほ場及び小区画農地による作業効率の低下が課題となっていることから、これらの解消に向けた農地の集積・集約を図る。羽生市遊休農地解消対策事業費補助金を活用した畦畔除去を行い集積を行う。
(2)農地中間管理機構の活用方法
相対による農地貸借(口約束等)が多く、公的機関を通じた農地貸借が定着していないことから、まずは農地中間管理事業そのものへの理解を促し、事業の定着率向上を図る。農地中間管理機構を通じた農地貸借の定着を図ったうえで、今後も引き続き耕作状況の見える化を進める。
(3)基盤整備事業への取組
ほ場の耕作条件や農業を担う者の意向を踏まえ、必要に応じて基盤整備事業の導入を検討する。ただし、事業実施にあたっては、地元一体となった主体的な取組が必要となるため、定期的な話合いの場を通じて合意形成を図る必要がある。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
加須農林振興センター及び羽生市農政課において新規就農相談を受けた際には、地元農業者と連携して農地の斡旋や指導者の選定、アフターフォローを行うなど、地域一体となって新規就農者の定着に取り組む。 また、県・市及びJAで行っている就農支援の周知・PRを行い、市内外問わず若年層や定年退職者など多様な経営体(農業を担う者)の確保・育成を図る。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
水稻・麦の病害虫防除については、農業者の任意でJAに委託することが可能。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

ほ場に面している農道・水路・法面及び畦畔の管理については、近隣ほ場や他の耕作者の営農に支障が出ないように、原則、当該ほ場を耕作している耕作者にて適切な管理を行う

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農	1	水稲+麦+露地野菜	4.62 ha	0.06 ha	水稲+麦+露地野菜	4.62 ha	0.06 ha	1	規模拡大意向
2	認農	2	畜産	0.19 ha	- ha	畜産	0.19 ha	- ha	2	
3	到達	3	花き・花木	0.7 ha	- ha	花き・花木	0.7 ha	- ha	3	規模拡大意向
4	認農	4	水稲	0.12 ha	- ha	水稲	0.12 ha	- ha	4	
5	認農	5	水稲+花き	1.25 ha	- ha	水稲+花き	1.25 ha	- ha	5	
6	認農	6	水稲+麦+花き	- ha	0.23 ha	水稲+麦+花き	- ha	0.23 ha	6	
7	利用者	7	水稲	- ha	0.31 ha	水稲	- ha	0.31 ha	7	規模拡大意向
8	認農	8	水稲	1.38 ha	- ha	水稲	1.38 ha	- ha	8	
9	認農	9	水稲	2.62 ha	- ha	水稲	2.62 ha	- ha	9	規模拡大意向
10	認農	10	水稲	0.25 ha	- ha	水稲	0.25 ha	- ha	10	規模拡大意向
11	認農	11	水稲	0.16 ha	- ha	水稲	0.16 ha	- ha	11	
12	認農	12	水稲	- ha	0.34 ha	水稲	- ha	0.34 ha	12	
13	認農	13	水稲	0.01 ha	- ha	水稲	0.01 ha	- ha	13	
14	認農	14	水稲	0.98 ha	0.09 ha	水稲	0.98 ha	0.09 ha	14	
15	利用者	15	水稲	0.03 ha	- ha	水稲	0.03 ha	- ha	15	
16	利用者	16	水稲	0.2 ha	- ha	水稲	0.2 ha	- ha	16	
17	認農	17	水稲	4.56 ha	1.92 ha	水稲	4.56 ha	1.92 ha	17	
18	認農	18	水稲	0.1 ha	- ha	水稲	0.1 ha	- ha	18	